

野沢北高等学校 百二十周年記念誌
真善美 ひたに追いつつ
目次

口絵写真

岳南会会長挨拶

学校長挨拶

第一章 二十一世紀の野沢北高校

概観……………三

第一節 理数科の新設とその展開……………六

理数科の新設／理数科の性格の変化／県内の状況／理数科は何を変えたか／課題研究と東大木曾観測所で

の天体観測／学力トップ層の流出／理数科のあり方への疑義／理数科の学びを生徒はどうとらえたか／探究的な学びへ

第二節 学力向上と進学成果への期待と熱気……………二七

一 野沢北高への期待 創立百周年 野沢北高を取りまく環境の変化／二 二〇〇〇年前後からの進路指導 教科指導 英語 数学 国語 理科 社会（地歴・公民） 体育 家庭 美術・音楽・書道 図書館 保健室 生徒の受けとめ 進路指導体系の整備 定期考査・実力テスト・校外模試 進路決定に向けての情報共有 学年通信 キャンパス見学会 出前授業・模擬講義 小論文集『戦跡と基地の島から考える』志望校の選択と受験校の決定／三 進路状況の変化と推移 進路状況の推移 国公立大合格者数の推移 国公立大学別の合格者数 難関国公立大学合格者数の推移／四 知的刺激空間 学びのあり方 知的刺激空間 知の探究の始まり／五 きめ細かく柔軟な進路指導

第三節 学校行事と生徒会活動……………六一

一 修学旅行 沖縄修学旅行 「計画通り実施してほしい」平和講演会 台湾高校生との交流 二十一世紀型の学力 台湾研修旅行へ／二 校内強歩大会／三 寒中休みとスキー教室の廃止／四 生徒会 この二十年 生徒総会 きれいな班室 情報モラルの呼びかけ 伝統ある班の消滅「一年様子を見る」を重ねて 応援練習 I S S 交信イベント、生徒会の決意／五 日輪祭、そして最後の第九 百周年特別企

画 恒例の水かけ、晴れて公認　そして第五十回　最後の第九

第四節 学校生活と生徒の気質の変化……………八四

一 男女別生徒数および比率の推移／二 生徒の服装・髪型の変化／三 授業形態・授業態度の変化／四 行事の変化 対面式 応援練習　今ではけっして歌えない「裏歌」 耐食会（大食会） 予餞会 駅伝大会
／五 その他、学校生活の変化 社会性の強い班活動の衰退 自由放任の進路指導から懇切丁寧な進路指導へ 飲酒・喫煙をしない今の生徒たち 自然体での男女交際へ／六 学校外での生活の変化 北高生の食事事情の変化 喫茶店文化とその衰退 映画文化の変化／七 不登校生の増大と単位認定の柔軟化

第五節 新型コロナウイルス感染症のまん延と学校生活の変化……………二二八

新型コロナウイルスの発生／第一波（二〇二〇年三月～五月）／年度当初の学校行事・生徒会活動への影響／班活動への影響／第二波（二〇二〇年七月～八月）／第三波（二〇二〇年十一月～二〇二一年三月）／第四波（二〇二一年三月～五月）／第五波（二〇二一年七月～九月）／第六波（二〇二一年一月～六月）／「ウィズコロナ」の対応／【追記】第七波（二〇二二年七月～九月）

第六節 クラブ活動この二十年……………一四四

一 幸運と感謝 地学班の活躍 育ちゆくもの　どれだけ成長したかで勝負 高校卒業の意味 男女ハン

ドボール班の活躍 女子ソフトテニス班、初のインターハイ出場 野沢北四人目のオリンピッククヘ／二
 みんなの支援 PTAとの六日間の雪かき 同窓生とOB・OG会の支え 校外での活動 高校生の感性、
 認めあうココロ 信州総文祭が開かれる 令和の時代、日輪天にかがやき

第七節 全国的に活躍する人材の輩出……………一七一

人材の輩出／一 学術 日本人十人目の宇宙飛行士・油井亀美也 グリア細胞を研究する脳科学者・小泉
 修一 地球温暖化問題を研究・原野安土 心理学の研究、公認心理師や臨床心理士を養成・望月聡 国語
 科教育や幼小接続の研究、教員を養成・藤森裕治／二 経済 グローバル・ビジネスを研究・井出亜夫
 中国との経済交流事業に携わる・中島俊輔／三 著述・出版 第十七代日本ペンクラブ会長に就任・吉岡
 忍 大手出版社の新書編集長・小木田順子／四 映像 国内外で大ヒットしたアニメ映画「君の名は。」
 監督・新海誠 東日本大震災復興ドキュメンタリー映画を初監督・尹美亜／五 美術 藝術院賞・恩賜賞
 ダブル受賞の快挙・山本文彦 洋画家有島生馬、日本画家奥村土牛らとの交流・櫻井寛 ニューヨークで
 抽象画を中心に創作活動・中澤高千夫／六 スポーツ ソチ2014冬季オリンピックスケート日本代表
 ・菊池萌水 慶応野球部主将として東京六大学野球で優勝・湯本達司 リオ2016パラリンピック日本
 代表選手団帯同ドクター・油井直子／枚挙にいとまがない人材の輩出

第八節 学力トップ層の流出と対応……………二〇七

- 一 通学区制の変遷／二 学力トップ層の流出の現況／三 学力トップ層の流出による進学への影響／四 学校の対応／五 中高一貫校への模索 ア 全国の動き イ 県内の状況 ウ 岳南会による中高一貫教育の研究／六 統合新校への期待

第九節 開かれた学校づくりと各種評価制度の導入……………二二三

- 一 開かれた学校づくり 開かれた学校づくりとは何か 学校評議員制度 野沢北高校での取組 二〇一七（平成二九）年度からのさらなる取組 ホームページの開設 中学校等の連携／二 各種評価制度の導入 教職員評価制度 学校自己評価・学校関係者評価 野沢北高等学校の学校自己評価 匿名性を担保した保護者による学校評価・生徒による授業評価

第十節 普通科探究事始め……………二五八

- 一 二〇一四（平成二六）年度 職員対象アンケートの実施 探究導入への課題 京都市立堀川高校訪問／二 二〇一五（平成二七）年度 文部科学省指針「普通科探究」導入の方向決定 堀川高校再訪／三 二〇一六（平成二八）年度 オリジナルテキストの作成 京都市立紫野高校訪問 ICT機器の導入 文部科学省、「総合的な探究の時間」導入へ／四 二〇一七（平成二九）年度 初職員会で実施

概要を提案 授業開始 授業環境のさらなる向上 第一回普通科探究発表会 教科「情報」との連携／五
 二〇一八（平成三十）年度 「未来の学校構築事業」応募／六 二〇一九（平成三十一、令和一）年度 「未
 来の学校構築事業」実践校への応募／七 二〇二〇（令和二）年度～二〇二一（令和三）年度 テキスト
 の大幅改訂 外部機関との連携 佐久地域コンソーシアム設立に向けたコアメンバーの選出 図書館機能
 を拡充したカラーリングスペースの整備 プロブレム・ベイスト・ラーニング（PBL）の導入に向けて
 ／八 おわりに

第十二節 高校第二期再編の流れのなかで……………二九二

一 第一期再編計画と旧第六通学区／二 旧第六通学区の深刻な少子化／三 県教委、第二期再編計画立
 案へ／四 岳南会中高一貫教育研究委員会による検討課題の多層化と野沢北高校の「探究」への志向／五
 県教委、野沢南高校との統合を提案／六 岳南会の意思決定に向けて／七 「佐久新校再編実施計画懇話
 会」と「同窓会連絡協議会」の活動／八 新校の開設に向けて

第二章 百二十周年記念式典

同窓会長の交代／式典の挙行……………三一九

巻末資料

三三五

- 1 21世紀の野沢北高校年表／2 教員構成の推移／3 募集定員・学級数・生徒数の推移／4 卒業クラス担任氏名一覧／5 授業料・学校徴収金等の変遷／6―ア 教育課程表（普通科）／6―イ 教育課程表（理数科）／7―ア 2010・2013日課表／7―イ 日課の変遷・推援会／8 学校行事／9―ア 運動班加入状況／9―イ 学芸班加入状況／9―ウ 同好会・サークル加入状況／10 入学者選抜方法の推移

あとがき